

平成 29 年度 第 1 回 地域包括支援センター運営等協議会 会議録

| | |
|------|--|
| 開催日時 | 平成 29 年 8 月 9 日（水）19：00～20：55 |
| 場 所 | 四街道市総合福祉センター3 階 会議室 1 |
| 出席委員 | 千羽会長、梅野副会長、松田委員、永牟田委員、大岸委員、梅山委員、 清宮委員、兼子委員、田島委員 |
| 事務局 | 濱口部長、吉橋次長、阿部課長、北崎主査、坂本副主査、工藤副主査、 設楽主事、塩田主事 大川センター長、江沢センター長、田中社会福祉士 |

会議次第

1. 開会
 - ① 福祉サービス部長あいさつ
 - ② 会長・副会長選出
 - ③ 職員紹介
2. 議事
 - ① 平成 28 年度決算及び事業報告
 - ② 予防プラン再委託事業所の承認報告について
 - ③ その他
3. 閉会

開会

議事 ① 平成 28 年の決算及び事業報告について

【決算について】

大川センター長：（資料 1 に基づき決算について説明）

江沢センター長：（資料 1 に基づき決算について説明）

田島委員：資料 1 で基幹型包括とみなみ包括とで分けているが、わかりにくい。まず、地域包括支援センターにこれだけのお金がかかっている、というのがわかるように全体の説明をしてから、それぞれの説明をしてほしい。みなみ包括は決算の差額はみなみの利益になっている。基幹型包括は差額を市に返還している。これは何故なのか。また、決算だけでなく、事業報告も説明してから質問を受けるべき。決算と事業報告を両方見ないとわからない。みなみ包括ができたため、基幹型包括の負担が減るはずだが、決算だけではわからない。

千羽会長：今、全体の説明をすることは可能か。

阿部課長：地域包括支援センターは圏域ごとに作っており、圏域ごとに、高齢者の人口割合等考えながら人員配置を行っている。総括のみで差額が出ているが、包括的支援事業分は、市が委託している包括支援センターの 3 つの事業、包括的支援事業、ケアマネ支援、

権利擁護。介護予防事業分は事業者としての部分であり、市からの補助金は出ていないため、民間の事業所と同様。市の運営委託分と事業者の利益とで分けている。それぞれの地域の特性を持って事業を行っているので、後で事業報告でも説明する。説明の方法については検討させていただく。

田島委員：みなみ包括はこのように細分化して報告する契約になっているのか。

阿部課長：事業費や人件費、項目ごとに細分化して支払っているため、詳細な報告が必要である。そのような契約となっている。

松田委員：基幹型包括は介護予防事業繰入金金が0円となっているが、今まであったことがあるのか。これから出そうか。

阿部課長：基幹型包括も人件費で繰入金があったことがある。会計検査院から包括的支援分と介護予防分の人件費が混ざりあっている部分をしっかり分けていく必要があるとの話があるため、今後は分けていく。そういった面で基幹型包括も今後、繰入金が出る可能性はある。

松田委員：いつまでに分けるのか、準備はしているのか。

阿部課長：そういう情報はあがるが、具体的に指示されてはいないので、期日は決まっていない。準備については今後話し合っていく。

千羽会長：包括的支援事業で専門職がプランを立てていることもあり、分けていく難しさがあると思う。

阿部課長：その分け方の困難さがあり、方法も課題である。

【事業報告について】

大川センター長：(資料2に基づき事業報告について説明)

江沢センター長：(資料2に基づき事業報告について説明)

梅山委員：3ページの虹の会は「介護者の会 虹の会」から「介護を学ぼう会 虹の会」にしたら、実際に介護をしていない人も来やすくなったのではないかと思う。また、17ページの旭中学校地区のふれあい交流会では施設が地域の方々の送迎を行って開催。その後施設の行事に地域の方々も招待され、地域の交流ができたと報告があったが、そういった取り組みが出来るのかと知り、市全体でできればいいと思った。

兼子委員：生活支援コーディネーターの配置はどうなっているか。

大川センター長：基幹型包括に1名配置されている。

兼子委員：今後増やす予定はあるか。

大川センター長：今後は中学校圏域で第2層の配置を予定している。

兼子委員：具体的なスケジュールはどうなっているか。

大川センター長：具体的な計画は立っていない。

阿部課長：大川センター長からもあったように、基幹型包括に配置されている生活支援コーディネーターが第1層として市全体を1人で担う。旭中学校区、四街道北中学校区、四街道西中学校区で第2層の配置について話し合いが始まったところである。早ければ今年度中に1つの中学校区で支え合い会議が立ち上げられればと活動を行っている。

田島委員：民間では前年度の反省や課題を次年度の計画に生かしているが、地域包括支援センターではやっているのか。資料から読み取れないのでわかるように作成していただきたい。また、会議の回数だけではなく、市民の満足度があるとわかりやすい。

梅山委員：課題があるのであれば実績の下に課題を短くのせるといいのではないかな。

大川センター長・沢センター長：検討していく。

田島委員：同じことをやっているのだから、尺度があると評価ができ、わかりやすいと思う。みなみ包括は評価票を用いてやっているようなので、いいところは基幹型包括も取り入れたらどうか。

千羽会長：月に一度開催している連絡会で、お互いのいいところ、悪いところについて意見交換していただけたらと思う。

田島委員：相談延人数が実際の支出の効果ではないか。しかし、これだけでは市民の満足度がわからない。また、職員数は基幹型包括がみなみ包括の倍の人数であるが、単純に相談延人数を見ると倍ではない。多すぎるのではないかと感じる。能率よく行う方法の検討を行い、生産性の向上が必要ではないか、と思う。

千羽会長：職員体制を見ると専門職の人数に差があるが、人口割とか基幹型としての業務のため、人数が多くなっている部分があるのではないかなと思う。基幹型包括とみなみ包括との違いについて、市民の声を聞く機会はあるか。また、基幹型包括とみなみ包括とで相談のしやすさの差があるというのは聞いたことがあるか。基幹型包括よりみなみ包括の方が車椅子や杖を利用している人にとって行きやすいのではないかと感じる。

大川センター長：具体的な話は聞いたことがない。奥まっているため、場所がわかりにくく、福祉センター1階に行ってしまう人もいる。

江沢センター長：地域によっては、みなみ包括より基幹型包括が近いという方はいる。来づらい方に対しては訪問して相談を行っている。

松田委員：先程、相談延人数を件数だけでなく、市民の満足度があるとわかりやすいという話が田島委員よりあった。市民からの評価を受けることについて、難易度は高いと思うがどのように考えているか。

大川センター長：人数は職員が携わったものを機械的に表している。踏み込んだ形での表し方ではなく、現状ではあくまで扱った件数として示させていただいている。

松田委員：うまくいったか、いかないかの評価をすべきではないか。県ではAからFまでの6段階で自己評価をして細かく分けていた。内容的に外部の人を入れての評価は難しいと思う。いずれかの段階で評価をする必要があるのではないかな。他市を参考になさるといいと思う。

阿部課長：今年1月の運営等協議会で自己評価を示させていただいて、活用してみたいかかのご意見をいただいて、各地域包括支援センターに実際に記入をしてもらっている。今後、市町村が運営方針を示すことになっており、それについては運営等協議会に諮ることになっている。来年度の計画に向けて行っていきたい。その際に今回の自己評価の結果を見て、課題を抽出した上で、来年度の計画に生かしていきたいと思っている。これから各包括支援センターと相談しながら、運営等協議会に諮っていく。

千羽会長：どんな相談が多いのかを地域ごとに出すと課題が出てくるのではないかと思う。高齢化率の高さによって課題が変わってくるので、地域ごとに集計すると課題が見えてくると思う。

梅山委員：みなみ包括の相談件数が職員数と比較して多いのは行きやすいからだと思う。南地区のほうが高齢者の人数が少ないが、新しくできたからというものもあると思う。基幹型包括が行きにくいというわけではないだろう。

千羽会長：基幹型包括は社会福祉士が多く、主任ケアマネジャーが少ないが何か理由があるか。

大川センター長：募集は両方かけているが、社会福祉士が多く集まっている。バランスよくとる必要はあると考えている。主任ケアマネジャーの育成も行っていきたい。

田島委員：認知症ケアパスが全戸配布されたが、内容はよくできていると思う。認知症の予防と、その介護について、自分は予防 6、介護 4 という形でやっていってほしいと思う。認知症にならないように努めてほしい。また、アロマセラピーが効果的だと聞いたことがある、その利用も検討して行っていただきたいと思う。

兼子委員：職員の処遇改善についてだが、基幹型包括の主任ケアマネジャーが 1 人なので計画的に行っていただきたい。また、みなみ包括には事務員がいないが、業務はまわっているのか。

江沢センター長：負担は大きいですが、なんとかやっている。

兼子委員：請求業務もあると思うので、バランスを見て事務員がいた方が三職種が専念できるのではないかと思う。職員採用については計画的に考えていただきたい。

議事② 予防プラン再委託事業所の承認報告について

北崎主査：(資料 3 に基づき説明)

議事③ その他

北崎主査：次回開催は 11 月を予定している。主な内容は認知症初期集中支援チームに関する件を予定している。

閉会(20 : 50)